令和８年度　第５回江南市部活動の地域展開に関する推進委員会　議事録

日　　時　　令和８年９月１５日　午後３時～午後４時４５分

場　　所　　ＫＴＸアリーナ　会議室３

出席者　村　良弘委員、岩田正武委員、西浦達郎委員、野沢卓也委員、
佐々　恵委員、村瀬勝弘委員、櫻澤弘章委員、橋本禎枝委員、
植島禎一委員、横山史明委員
委員計１０名
高田教育長、仙田教育部長

欠席者　安藤善啓委員

事務局　生涯学習課、スポーツ推進課

傍聴者数　２名

会議資料
資料１　地域クラブ活動実施に係る継続課題の検討について
資料２―１　各種協会、連盟主催の大会への参加調べ
資料２－２　令和８年度　秋の新人戦等への出場予定
資料２－３　江南市地域クラブ活動参加生徒の対外試合等派遣に係る
事務取扱（案）
資料３　「部活動の地域展開について」中学校入学説明会での周知について

１　開会

２　委員長あいさつ
（省略）

３　教育長あいさつ
（省略）

４　議題
（１）地域クラブ活動実施に係る継続課題の検討について（資料１）

第４回の実行部会、推進委員会で、地域クラブ活動実施に係る継続課題について、課題項目に係る令和８年度方針や令和７年度の協議内容、また、課題項目についての対応と検討案を確認していただいた。その中で出された意見について

も、今回の検討に含めている。
本日は、それぞれの課題の検討と具体的な方向性について、委員から意見をいただきたい。
地域クラブ活動実施に係る課題の検討として、５つの課題項目を挙げている。また、課題の検討欄で、特に令和８年度中に具体的な方向性まで決定していくものについては太字下線で記載してあり、今回はそちらを中心に説明する。
課題項目１の「持続可能な安定的な活動の実施について」は、特に３点の検討をお願いする。
その１点目は、上から２つ目、地域クラブ活動の認定制度の策定である。こちらも令和８年度中に方向性を決定したい課題であり、今後事務局で認定制度の案を作成し、年明け以降の実行部会・推進委員会でお諮りし、そこでの意見などを踏まえて策定していきたいと考えている。
２点目は、保護者を始め地域住民への周知と理解促進のため、入学説明会・保護者会等の機会を利用した行政・学校からの広報、学校ホームページ・保護者連絡用ツール、市ホームページ・広報誌を活用した記事の掲載などの実施である。こちらは、スポーツ少年団のアンケートでは周知が広がっていない結果もあった。地域クラブ活動を保護者、地域住民の皆さんにさらに知っていただくように、いろいろな方向から目に留まりやすいようにしたいと考えている。また、前回の推進委員会では、学校ホームページから、地域クラブ活動の情報の閲覧に繋がるリンクなどを学校ホームページ内に掲載する提案があった。できる限り速やかに学校に依頼したい。
３点目は、安定的な活動の継続において、喫緊の課題は指導員の充足である。学校部活動顧問、市内スポーツ団体・文化団体と連携した指導員確保を挙げた。この間、指導員募集チラシを作成し、各学校、市役所職員へお知らせするとともに、アリーナ内でもポスター掲示にて啓発、各学校へ兼職兼業での指導協力の依頼をしてきた。また、地元企業に対する周知と連携への協力要請に着手している。
課題項目４の「地域クラブ活動としての大会参加について」に関連するが、大会参加にはそれぞれの種目ごと、大会ごとの要項等を確認、理解する必要があるため、学校部活動顧問にはこれまで学校部活動から大会に参加してきた際の情報や手続きの伝達をいただきたい。大会当日の運営を含め、当分の間、先生方には指導員としての登録、活動について、ご理解とご協力をお願いしたい。
課題項目２の「活動場所の複数化等の実現について」の１点目は、同一種目において活動場所での活動内容、指導方法に格差のないよう、指導員間でのコミュニケーション強化である。こちらは、現在もバレーボールやソフトテニスなどは、複数の中学校で学校部活動として平日に実施されているため、指導者は違うものの練習メニューや指導方法は同じようになるように、指導者間でコミュニケーションをとってもらうように事務局からも働きかけていきたいと思う。
２点目は、学校部活動と地域クラブ活動での指導内容の確認のため、部活動顧問と指導員との交流の機会である。こちらは、学校の部活動で部活動顧問が行っていた練習内容や指導について、地域クラブ活動での指導員の指導の内容に大

きな開きがないようにするために行うものである。部活動顧問と指導員との交流は昨年度も実施しているが、今年度も速やかに調整し、その機会を持っていきたいと思う。

課題項目３の「文化部を含めた新規実施種目と指導員の確保について」の１点目は、実施可能種目の選定と指導員の確保である。スポーツ、文化種目及び軽スポーツ系で、地域クラブ活動として、実施可能な種目とそれに伴う指導員の有無を検討することになる。開催予定の「楽しみん祭」については、各中学校へボランティアの案内をしており、昨年度は１２人、今年度は現在までに３５人の応募があった。ボランティアでない一般の参加としても呼びかけている。

課題項目４の「地域クラブ活動としての大会参加について」は、中体連主催の大会等への出場機会の確保である。

１点目は、これまで学校部活動から公費で参加していた大会に地域クラブ活動として大会に出場する場合は、これまでと同様に支援していきたい。

２点目は、大会への参加機会の確保で、各大会の出場申込、引率、運営などを円滑に進めるため、学校部活動顧問教諭との連携と協力体制の整備を挙げた。先ほど課題項目１でも説明したが、大会参加にはそれぞれの種目ごと、大会ごとの要項等を確認、理解する必要があるため、学校部活動顧問にはこれまで学校部活動から大会に参加してきた際の情報や手続きの伝達をいただきたい。大会当日の運営を含め、当分の間、先生方には指導員としての登録、活動について、ご理解とご協力をお願いしたい。

課題項目５の「実施種目毎の受益者負担額の見直しについて」の１点目は、受益者負担について保護者に理解を求めていくとともに、令和９年度予算以降において、各種目の運営に係る必要経費を算出し、参加料の保護者負担額を検討する。江南市の地域クラブ活動は、生徒の居場所づくりとして参加しやすい条件とするため、今年度、参加料は１回５００円の負担としている。前回の会議では、現在、来年度の予算編成の積算のため、地域クラブ指導員に必要な予算を聞き取っており、その金額を参考として種目ごとの参加料の算出を検討する予定であると説明したが、令和９年度はあくまで予算額の為、参考としての算出はできると考えるが、本格実施を１年間継続して行った実績から、種目毎の適正な参加料の算出を検討したい。従って、令和９年度は、今年度同様、１回５００円の参加料としたい。この会議の前にあった実行部会でもそのように説明をしてきた。

２点目は、見直しについては、近隣市町の考え方も参考として、スポーツ保険の保険料を含め事業に係る公費負担の範囲を検討する。来年度のスポーツ安全保険の保険料の公費負担を検討してきたが、先ほどの参加料と同様、確定させて予算編成に反映させなければならない。実行部会で協議した結果、現在、国や県から対象経費の３分の１ずつ補助金があることから、令和９年度も現状と同じ公費負担８００円で財政担当と予算協議をすることとした。

○委員長
　事務局から特に令和８年度に取り組んでいきたいものについての説明があったが、質問や意見はあるか。

○事務局
　補足で恐縮だが、前回の推進委員会の中で学校ホームページに地域クラブ関係の市ホームページのリンクを貼っていただく話があった。９月下旬の校長会で正式に依頼をしていく。
　地域クラブ活動指導員と学校部活動顧問の交流の機会については、実行部会でも説明したが、これから秋の大会参加の話もあるので、当面、現在の学校部活動顧問が、土日の大会だけでも指導員として引率などをしていただけないかという話も交えながら、情報伝達、交流機会を作っていく。こちらはできる限り早く実行していく。
　スポーツ保険の保険料は、現在１人８００円である。現在は公費負担であるが、国、県の補助金が　３分の１ずつあり、市の負担は３分の１という形になっている。スポーツ推進課としては、本格実施が今年の９月からで、１年通してみないことには、どういったお金が掛かるか等もあるので、令和９年度の参加料は５００円、保険料も引き続き公費負担するという形で予算要求していきたい。予算要求が通るか分からないが、スポーツ推進課としては、国、県の補助金もあることから、こういった予算を一応公費で賄う理由付けで財政担当に訴えていく。

○委員
　課題項目１の２番目に認定制度の策定があるが、認定団体へ市のお金が補助で流れることになるのか。地域クラブのイメージとは少し違うと感じる。

○事務局
　江南市の場合は自治体がクラブを運営しているが、令和８年度から国３分の１、県３分の１で、市が３分の１でやっている。これが江南市と同じように、認定地域クラブの条件を満たすクラブが立ち上げられたら、そこから江南市に認定の申請書が出され、江南市が認定した場合は、その団体に対して市から補助金が出る流れになる。

○委員
　課題項目５にあるスポーツ安全保険と登録料について聞きたいが、登録料を徴収するのは、親としては正直どうかと感じる。そもそも市民だし、半分、大人の事情で休日の部活動はもう学校では行わないことになっているのに、登録料をさらに取るのかというのは感じるところである。逆に保険料は、やはり必要なものだと思うので、登録料という名目でなく、保険料という形でお金を徴収して、予算を回すような方法を考えるなど、工夫してもらいたい。

○委員長
　ここでいう登録料は、要するに年会費の形でしょう。

○委員
　必要なものはこれですと、言った方がいい。チームに登録するためのお金なら、それは少し違うのではないかと感じた。

○事務局
　例えば陸上競技の場合、前年度末までに翌年度分のチーム登録料を払わないと、４月以降の大会に出られないようなものもある。この辺も課題である。

○委員
　「楽しみん祭」のボランティアにはどのようなことをしてもらうのか。

○事務局
　「楽しみん祭」では受付などをお願いする。もちろん、自身も参加して楽しんでいただきたい。中学生へのアンケートでは、例えば、ボッチャとかモルックが地域クラブ活動にあれば入りたいというような回答もあった。また、スポーツ協会理事会で校長会代表から、中学生に軽スポーツを体験させる場所があれば中学生も喜ぶという話もあったことから、ボランティアとして来た中学生にも軽スポーツを体験させてもらえるようスポーツ推進委員にお願いをしている。

○委員
　それは非常に良いことだと思う。
　非常に大きな問題で、課題項目４、５にも関わってくるが、中体連も含めて各種大会にどのように参加していくか。指導員がチームづくりから大会引率等々をやっていくにしても大変だろうということはよく分かる。これまで中学校でやっていた部活動をそのままこの地域クラブ活動の展開の中に移そうという考え方、それ自体をなくさなければいけない。どういう大会に参加するのか、練習試合はどうするのか、去年まで参加していたから、今年も参加するという考え方は、もう地域展開になっているので考え直す必要があるだろう。
　例えば、部活動の指導員が引率ばかりでなく大会運営にも関わらなければ、参加できないこともよく分かるし、部活動の顧問教諭に指導員として一緒にやることを求めるのもよく分かる。ただ、これは果たして可能なのか。これまでの顧問が土日に指導員としてやるけど、教員からの希望がない種目はどうするのか。課題として恐らく残ると思う。中学校の先生から話を聞かないと、恐らく大会参加はできないと思う。連盟の登録方法すら分からない。この連盟はどういうものなのかもよく分からない。先生たちがかなり関わっている部分もある。審判も実際には先生たちが今までやっていた。先生たちが一切手を引いて、本当に連盟の大会が成り立つのか。その情報収集も必要だと思う。いかに中学校の部活動指導

者が９月以降どう関わっていくのか。それは大きな問題だと思うので、中学校の先生の話を聞きながら進めていただきたい。それが上手くいかないと、大会参加などは上手くいかないと思う。

○委員長
　学校部活動の顧問教諭に指導員登録してもらいたい、そんな話が出てきたが、これは大会のためになのか、通常の活動を兼職兼業でお願いするのか。

○事務局
　昨年度は指導方法を主テーマに、顧問教諭と指導員で交流の機会を設けた。今年度も早期に行いたいが、指導方法に加え、どういう大会に申し込んでいたのかも詳しく伺いたい。例えば、毎年出ている大会について、あるいは中体連に出るための予選についての話も伺いたい。現在の地域指導員では分からない点が多いことから、その種目の顧問だった先生には、兼職兼業での指導員登録も相談したい。さらに、そのまま指導員として通常練習の指導もしていただけるのかは先生によって違う。まずはそういった場を設けたいということで、今回課題に挙げた。

○委員長
　校長会ではそのような話は出ているのか。

○委員
　次回の校長会の中学校部会の５校で共有しようと考えている。実は、昨年度も地域クラブ活動指導者と、昨年度の学校部活動の顧問が直接話す機会を作って、いつでも連絡を取れるようにはした。それをまたやるということなら、それを含めて、情報共有する。

○委員長
　是非協力をしていただければありがたいと思う。元々働き方改革の話でスタートしている部分もあるので無理強いはできないものの、移行期として、どうしても先生方の力を借りなければならない部分は、協力していただけるとありがたい。
　もう一点、学校ホームページについて、これは次の校長会に依頼して進められるが、小学校、中学校の全学校ということでよいか。

○事務局
　全学校に依頼する。

○委員長
　地域展開がなかなか理解されていないという声があった。小学生しかいない

保護者にも、学校ホームページでクリックすると、中学校はこうなっていることが分かる地域展開の資料になればいいと思う。小学校の方もよろしくお願いしたい。

課題は、当然まだまだあるとは思うが、事務局には本当に子どもらのために、課題解決ができるところは解決をしながら進めてほしい。しかも保護者の負担もできるだけ少ない形でやれたらいいと思う。是非よろしくお願いしたい。

来年度のこの地域クラブの方向性としては、これでよろしいか。

それではこの方向で進めさせていただきたいと思うのでよろしくお願いしたい。

（２）地域クラブ活動からの大会参加について（資料２）

○事務局

資料２－１の「各種協会、連盟主催の大会参加調べ」について説明する。この資料は、宮田中学校長を始め、各中学校の校長先生方にまとめていただいた資料で、これまで学校部活動として参加、出場していた協会主催の大会への参加状況を種目ごとに一覧にした資料である。先生方には大変ご多忙の中の作業になり、お礼申し上げる。

次に資料２－２の「令和８年　秋の新人戦等への出場予定」について説明する。この表はこの秋の新人戦などになるが、地域クラブとして参加を予定している種目などを掲げた。種目としては、軟式野球、ソフトテニス、陸上競技の３種目で、表の一番左の番号は資料２－１の番号と同じ番号になっている。

まず、軟式野球は９月１９日、２０日、軟式野球連盟の尾北予選に出場する。通常の学校グランドでの練習ではないが、地域クラブとしての活動であることから、参加するベンチ入りの２０名には１回５００円の参加料を求めていく考え方が、先程の実行部会でも確認がされている。

次にソフトテニスは９月２６日、ソフトテニス連盟の尾北地区新人戦に参加する。

最後に陸上競技は９月１９日、２０日、陸上競技協会の西尾張中学校新人陸上競技会に参加する。江南市の地域クラブとして参加、１チーム６，０００円の団体登録料も必要だったが、今回は昨年度末、令和８年３月に８年度用の登録料を各中学校が納め、登録がされているので、そのゼッケンを使わせていただくことにより、個人参加費のみで参加できると聞いている。陸上競技の指導者によると、陸上競技は陸上連盟に団体登録料が必要な団体登録を令和８年度末までに行い、９年度用の登録料を納める必要があるとのことであった。また、陸上競技はこの陸上連盟の登録がないと、そもそも中体連の大会にも参加できないとも聞いている。この連盟への登録料をクラブ側でどう工面していくのか懸念されている。

このことについて、先程の実行部会では、中体連主催以外の大会についても、将来的には、市の予算措置をして応援してほしいという意見もあった。実行部会

として声を上げたいと一致したので、推進委員会に報告する。
表の最下段は、９月１３日に江南市陸上競技協会の江南市民陸上競技会大会に参加する予定であったが、雨天のため１０月１８日に延期されている。
先程の実行部会では、大会参加に関連しユニフォームについても取り上げられた。ユニフォームについては、現在のところ、市が予算措置をして購入する考えはなく、今まで通り個人対応でお願いする。ただ、今後使う見込みがないユニフォームがある学校もあるようで、そのようなものを地域クラブで活用できないかとう意見があった。今後使う見込みのないユニフォームの譲渡について、一度、中学校に打診、依頼してみたい。
次に資料２－３の「江南市地域クラブ活動参加生徒の対外試合等派遣に係る事務取扱（案）」について説明する。前回の会議で大会参加に関する事務取扱（案）を提案したが、一部修正する箇所も合わせて改めて提案する。
事務取扱の構成は、目的、定義、参加料等及び旅費となっている。これまで学校部活動から参加していた第２条に定義する大会、中体連などへの参加を地域クラブでも検討していく。対外試合の定義は、現在、教育課で施行されている「江南市児童・生徒の対外試合等派遣による補助金交付要綱」の定義と同じである。今回は第３条２項を修正する。前回示した案では派遣する者の人数として生徒の規定しかなかったことから、引率等を行う指導員の規定も入れた。また、第４条は、第２条に規定する大会以外、例えば協会主催の大会にも地域クラブとして参加することを妨げていないことを改めて明記した。ただ、こちらの協会主催大会については、県大会以上に進まないと市からの予算措置はない。
試行実践から本格実践に移ったものの、この大会参加については、これから参加実践の中で、想定していない課題も出てくると思われる。課題に柔軟に対応するため、この事務取扱についても必要に応じて見直していきたい。
最後に、繰り返しになり恐縮だが、陸上競技、バレーボールなど、連盟に登録していないと、中体連にエントリーできない課題についてもご意見をお願いしたい。今後の参考としたいのでよろしくお願いします。

〇委員長
従来から大会参加についてはいろんな意見がある。皆さんから何かあれば発言をお願いしたい。
当面はこの秋の新人戦の大会をどうするかになるのか。

〇事務局
実際には大会の初戦が既に始まっているが、ここまで予算的な応援は一切ない。ただ、参加者からは、地域クラブ活動の参加料５００円をもらうことと、指導員の現場での拘束時間を勤務時間として、その分の謝金を指導員に支払うことにしている。

○委員長
　例えば、資料２－２によると、軟式野球が９月１９日、２０日に行われ、チームの団体参加料６，０００円が必要になるが、これについてはこのクラブが保護者から集めて対応したのか。

○事務局
　ベンチ入りした２０人から、試合当日、１人３００円ずつ集金すると聞いている。大会参加に必要として集金することに対する苦情的な反応はなかったとも聞いている。

○委員長
　軟式野球の登録者は何人か。

○事務局
　３８名。うちベンチ入りは上限の２０人で登録している。

○委員長
　その２０人だけが、１回５００円の参加料を払うのか。

○事務局
　大会に参加しない生徒については、通常の拠点グラウンドで練習する検討もされたようだが、指導員を二手に分ける体制ができないことから、２０人以外の生徒は休みにする予定である。

○委員長
　地域クラブの通常の活動は、ベンチ入りの２０人が行う。それ以外の生徒は休みとし、場合によっては自主的に応援にいっても構わない。クラブとして話し合い、そのような形になっていると捉えてよいか。

○事務局
　その通りである。

○委員長
　ソフトテニスの方も同じような考え方でよいか。

○事務局
　ソフトテニスもそうである。中学校でソフトテニスクラブの部活動があったところは既に登録してあるので、団体登録料の４，０００円は今年度は不要である。ゼッケンを持ってない人は、特に１年生になるが、個人で作ってもらう。団体参加費、１チーム２，０００円は、チームに属する保護者で負担してもらう。

お金のやり取りはクラブ側が行う。

〇委員
　１回５００円の参加料は、江南市の一般会計に入るのか、それとも地域展開のための指導員謝金を始めとする運営費に充てるものなのか。
　もう一つは、例えば秋の大会でも２日間の日程になっている。そうすると半日の４回分の謝金予算を使ってしまうことになる。謝金予算で考えた場合、９月はこの大会だけで終わってしまう。練習も９月は全くできないことになってしまう。その辺はどうなっているのか。

〇事務局
　参加費については、スポーツ庁から出来る限り安価な金額を求められており、１ヵ月２，０００円から３，０００円程度と案が示されている。その中で江南市としては１回５００円で試行実践をやってきた。９月からは原則、週に１回という形になったので、４週なら２，０００円になる。この参加料については、市の一般会計に入る。１回５００円の参加料は、基本的には指導員の謝金に充てられるのが大前提になる。ただ、５００円以内で全部やり繰りするのではなく、消耗品なども公費から支出する形である。
　大会に必要なものについては、その参加者で対応していただく。例えば、参加者の人数割りで負担していただく形などになる。また、指導員が現地の大会に監督、コーチなどとして拘束される時間は、移動時間は別として、勤務時間として報告を受け、それに対し謝金を支払う。

〇委員長
　大会での拘束時間に対し謝金を支払うのは分かるが、１日３時間程度、月４回程度を原則としている中で、試合だけでその４回分を使ってしまい、他の日には練習もできなくなる心配はないのか。

〇事務局
　来年度以降は、通常の活動と大会の現地指導の時間数で予算要求していくが、今年度については、対外試合の現地指導の時間までは予算に見込んでいない。ただ、この間の実態としては、定期的な活動がなされていないクラブがあったり、天候による中止、熱中症対策のため活動時間を短縮したりしてきたクラブもあるため、今年度は現在の指導員謝金の予算の中で対応できる。

〇委員長
　試合に出ない生徒の活動のことも考え、指導員の勤務時間を調整するということか。

○事務局
　指導員が監督、コーチとして参加する場合であっても、開催要項に定められた必要最小限の人数で対応してもらう。

○委員長
　財源の関係は、１日５００円の参加料は市の予算に入るので、それがそのまま歳出で出てくる訳ではなく、歳出は予算が組まれている中で執行される。これがイコールではない。

○委員
　だから非常に使いづらいところはある。

○委員長
　最初に予算化してあるので、その予算の範囲でしかやらない。もし不足するなら補正予算という方法もあるが、一応予算の範内で執行している。

○委員
　軟式野球の新人戦について質問する。チームは１チームだけにしたのか。

○事務局
　試行実践の期間は活動拠点が２ヵ所あったが、９月からは１ヵ所、１チームとなっている。

○委員
　今回は参加登録が２０人であったが、それ以上の希望があったらどうしていたのかとも思う。また、引率者はどうするのか。それからユニフォーム、チーム名などはどうするのか。

○委員
　聞くところによると、当日はまず、古知野中学校で練習して、その後大口町にある試合会場に移る。

○委員
　その間の移動は保護者が送るのか。

○委員
　選手自身が自転車で移動したり、場合によっては保護者の送迎もある。また、ユニフォームは、中学校のものに背番号を縫い付けることになっていると思う。今回は各中学のものをそのまま使用する。

○委員
　軟式野球は、同じユニフォームを監督も含めて着るルールがあったと思ったので聞いた。ただ、引率については移動途中のこともある。今回は引率責任者がいないのか。

○事務局
　当日担当の指導者が現地で生徒を迎える役割にあたる。

○委員長
　保護者送迎か、あるいは本人が自力で行くことになる。

○委員
　自転車だと途中何かあっても困ると思った。

○事務局
　今回のチームについては、先生が兼職兼業で監督を務めている。

○委員
　やはり先生たちの兼職兼業による引率が必要だと改めて感じる。

○委員
　資料２－２の陸上競技について、この団体登録について実行部会で発言があったとの説明があったが、陸上競技だけそういうことにするのか。

○事務局
　実行部会での委員からの発言は、団体登録費は、来年度からでなくとも、将来的に市で予算化して、支援してほしいというものであった。この件について実行部会として声を上げることになり、今回の推進委員会に報告したのが経緯である。これは特定の種目に限ったことではない。

○委員
　試合に出るも出ないも自由なので、出る人が登録料を払えばいいと思う。そもそもこの地域展開のコンセプトとして、競技志向の強い人もいれば、土日のホビーとして参加する人もいるので、そこまで市の予算で面倒見なくてもいいと思う。ただ、試合の登録料も個別にそれぞれ必要となってくる現実もあるので、保護者側に１回５００円の参加料とは別に、例えば、軟式野球なら年間これぐらい費用が要ることを計算して、情報開示してほしい。多分、種目によって当然変わってくると思ので、それを保護者側が分かった上で、そこに参加させるのか、あるいは、他の競技にするのかという選択ができる状況をお願いする。

○事務局
　実行部会でも同様の意見があり、保護者に情報を早めに示すように、特に金額が将来的に上がる見込みがあるものは早めに知らせるようにとの意見があった。事務局として出来ることはやっていきたい。

○委員長
　資料２－３の参加料と旅費の取り扱いの中で、第３条の第 1 項に「前条各号の対外試合等の参加に係る参加料等及び旅費に相当する額は、江南市の一般会計予算から支出する」とあるが、参加料も一般会計から出すのか。

○事務局
　該当する大会に限られるが、第４項のとおり参加料も支出する。今まで学校に対し補助金の形で出していたものは、形は異なるが支出する。これまで教育課が出してこなかったものは厳しい。

○委員
　ユニフォームについて、今は学校のものが使えるが、５年ぐらいするとダメになる。中学校では大体５年ぐらいで順番に買い替えてきた。ここはやはりスポンサーが欲しい。ユニフォームを１チーム分を揃えると、軟式野球では１着１万円ぐらいで、多分２、３０万円でいけると思う。そうすると、例えば、事業者のロゴを入れてもいいから、３０万円ぐらいなら意外と安いと思うので、今すぐでないにしろ、商工観光課や商工会議所と連携を図ってもらいたい。１０種目から１５種目ぐらいだったら、何とか江南市内の企業様にご協力いただけないかなと思う。江南のこの地域クラブのロゴを中学生から募ったりとか、いろんな活動もできる。また検討課題にしていただきたい。

○委員
　ユニフォームだけでいえば、江南市の中学生は、部活動も含めてみな同じものを着て練習する。そこにゼッケンを付ける。軟式野球ならチーム名を付ける。そうすると取りあえずは、いけるかと思う。練習時からそれを着てやればいいと思う。それにはいろんな工夫の仕方があるので、中体連の１回だけのために自前ユニフォームを作るのも気の毒な気がするので、一度検討されたい、大会に出るということも勿論目標だが、スポーツに親しむことが目的なので、よく考えて進める必要がある。

○委員
　中体連主催の大会と協会主催の大会があって、中体連に参加するのも費用が掛かって、プラス、協会にも登録料を払って大会に出るといった２段構えで今まで来ていたと思う。資料２―３を見ると、基本的に中体連の大会に関しての経費の捻出という恰好である。その辺を少し分かりやすく説明することは必要であ

る。今、地域クラブが出場する大会は、中体連の大会をベースに考えられている。協会主催も含めて、年間通してこのような大会に出て、これぐらいの経費が掛かり、その登録はいつまでかということを、子どもと保護者に明確に伝えることで、子ども自身は年間通して、この大会に出るから、毎週行こうかとなるだろうし、保護者にしても、大会に出るための費用面の準備もできると思うので、その辺を分けてきちんと説明をすることが必要と思う。一度検討をお願いしたい。

〇委員長

前回もあったが、市の教育委員会が事務局をやっている以上、青天井でどんな大会にも出ていく考え方ではなく、これまで学校部活動から参加していた大会までぐらいで、市の教育委員会としては抑えないといけないのではないか。今日の資料２－１は、昨年度まで中学校が参加してきた大会なので、この辺のところでどうですかと指導員に話してもらう。これこそ学校の先生との情報共有になるかもしれない。資料にある大会に全て出るという意味ではなく、出るとしたら、この大会までででと伝えておくことは必要である。資料を見て感じたところである。また、学校側と指導員側との情報共有の場面では、是非この大会の参加についても共有していく、共通理解をしていくという必要性があるような気がする。

〇事務局

部活動顧問教諭と指導員の交流の場面では、大会参加について聞き取りをしていく。また、現状の指導員にも全部出られる訳ではないので、当然先ほど言ったお金の面もある。実行部会で話があったが、例えば、野球であればこの大会にはこれだけのお金が掛かりますよというのを事前に保護者に通知してほしいという話もあった。事務局で情報収集し、部活アプリから保護者に知らせたいと思っている。資料に記載の大会の全てに出るのも難しいと思う。当然、指導者と子どもらの合意も必要で、出場希望が少なければその大会へは出られない。そこも指導者と協議して決めていきたい。

〇委員

以前、参加料の免除制度を設ける提案が事務局からあった。対象世帯の子どもは、どこまで免除されるのか。

〇事務局

免除対象は、生活困給の世帯に対するもので、市から就学援助を受けている世帯になり、この９月からスタートしている。ある程度の世帯数が利用している。免除するのは１回５００円の参加料である。実際の活動には、それ以外に用具などを揃えるお金がいる種目もあると思われる。この免除制度とは別に、生活保護制度の中にも、年間の上限はあるものの給付があるので、そのような世帯の方が相談、申請に来た場合は、生活保護の担当に詳細を聞くよう案内をしている。

○委員長
　対象世帯の子どもは参加料の５００円を払わなくてよくなっている。そしてスポーツ保険の保険料も公費負担なので、大会に出なければお金を出す必要性はない。

○委員
　やはりどのくらい掛かるのかを出していただくのが重要だと思う。

○委員
　軟式野球の話に戻るが、今回の大会の費用の徴収が当日現金で徴収となったが、これは参加料の請求に組み込めないのか。集金事務を指導者の負担にしていいのか。どちらが皆さんにとって負担が少ないかは何とも言えないが、いずれにしろ、誰かが計算して集めなければならない負担は残る。あまり現金を持って行かせるのもどうかと思う。参考にしてもらいたい。

○委員長
　軟式野球の団体参加料の６，０００円は公費負担か。

○事務局
　このケースは従来より公費負担していない。

○委員長
　公費で負担しないから、別に集金したものを主催者に払う。支払期限までに事前に集金するなど、お金のことだけにきちんと処理されたい。

○委員
　指導員の負担が増えるのもよくない。

○委員長
　現金徴収はやむを得ないと思うが、それを一旦誰かが立て替えて払うのはあまり良くない。今回は地域クラブとしての大会参加は初めてのケースだが、指導員に迷惑が掛からないように、その辺をどうするかも検討ということにする。
　それでは、この議題はこの程度にさせていただく。

（３）中学校入学説明会の資料について（資料３）

○事務局
　部活動の地域展開、地域クラブ活動についての周知と理解促進を図り、持続可能な安定的な活動としていくため、来年度入学予定の児童とその保護者を対象

とした入学説明会の機会を利用して、地域クラブ活動の概要を説明したい。
　周知内容は、令和９年度休日の部活動の地域展開に係る地域クラブ活動の内容と実施についてである。入学説明会の中でレジュメに沿ってスポーツ推進課職員により説明する。
　各学校の説明会予定日は、記載のとおりだが、時間等の詳細は現在調整中である。このことについては、中学校長宛てに１７ページの依頼文書にて、１０月の校長会議で依頼する。特に学校にお願いしたいことは、各中学校で学校部活動の動きが異なることから、学校から保護者への説明の中で、来年度の各学校部活動の実施予定内容等についての説明をお願いしたい。今年度は、昨年度までのスライドを使用した説明から、説明会後に見直しや確認ができるように、現段階で事務局から伝えることができる内容を簡潔なレジュメにして配付、説明する方法に切り替える。説明用レジュメ及び保護者からのご意見等を聞く依頼文書については、事前に必要部数を学校へ届ける。

〇委員長
　これは３、４年ぐらいやってきて、段々充実してきていると思う。地域展開について、入学説明会では保護者に説明はしているが、なかなか理解が浸透していないという声もあるので、１５分の短い時間ではあるが、保護者が理解できるような説明をお願いする。
　地域クラブに必ずしも入らなくてもいいということが、この資料には出てこない。今までの部活動が地域クラブに変わるだけというイメージを持たれるのを懸念する。あくまでも選択肢の一つとして地域クラブがあることを、説明の前段で伝えてほしい。資料の最初には「休日の部活動が変わります」とあるので、保護者は、部活動が地域クラブに変わると認識してしまう可能性もある。あくまでも部活動が無くなって、その代わりにこういう地域クラブもあるので、これも選択肢の一つであり、極論になるが参加しなくてもいいし、民間のクラブで活動してもらっても構わない。受け皿として市は地域クラブを用意した。その程度の話は前段でしてほしい。

〇事務局
　来年度の募集を３月ぐらいに行うが、実行部会では、これまでやってきた参加者が同じ種目で、継続して参加できる募集方法にできないかとの意見があった。継続者を優先して入れると、種目によっては定員の兼ね合いもあり、新規希望者の多くが入れないことにもなり兼ねないと思う。

〇委員長
　もう一回、改めて希望を取ればいいのではないか。種目を変えてやりたい者や、一度区切りを付けたい者もいるだろうし、いろいろだと思う。例えば、サッカーだけでなく軟式野球もやりたい者もいるかもしれない。そういうことができるためにも、毎年、大変かもしれないが、募集し直しをやってもいいと思う。

○委員
「０３　地域クラブ活動とは」の中に、「大会へは、原則地域クラブ活動として出場します」とあるが、学校単位としての参加がないことを明記しておいた方がいい。前回、誤解された保護者もいる。

○委員
保護者周知に関しては、保護者側としても反省する点はあるかと思う。
中学生の男子たちとか話をしたが、土曜日はサッカーの地域フラブ、日曜日はバスケットボールの地域クラブに行っている話も聞く。そういう声はちょくちょく聞く。マルチスポーツだとか、居場所づくりという点で、子どもらの方が情報の先端を行っていて、子どもが当事者として、自分で選択をしている。これがもっと広がっていく可能性があると子どもらと話しながら思った。そこに保護者が、当事者として付いていけていない部分もあるので、保護者が情報に触れるようホームページ等で情報を発信していただきたい。
委員長から、地域クラブに別に参加しなくてもいいとの話もあったし、今お伝えしたように複数の種目を選択してもいいし、年度で種目を変えてもいいことも、説明の中で触れていただくと、新しい活動としていい方向で捉えてもらえると思う。ご検討をお願いする。

○委員
来年また市民駅伝があるが、今まで各中学校の部活動を中心に出場があったが、地域クラブからも希望があればお願いしたい。多分、陸上競技クラブの子どもらが参加すると思うが、この地域クラブ参加者が一堂に会する場は多分ここしかない。いろんな機会を捉えて市民駅伝のピーアールをしていただきたい。

○事務局
市民駅伝の実行部会がまもなく開催される。現在の平日の学校部活動としての参加を学校の先生にお願いする。若しくは、地域クラブでの参加ということで、指導員に投げかけるかなどの対応を今度の市民駅伝の実行部会に提案する。

○委員
説明会を５校の中学校でやるわけだが、資料の最後に二次元コードを載せて質問を受けることになっている。地域クラブに関する質問は欲しいが、昨年度は学校部活動に関する質問もどしどし来たと聞いた。今回もそういうことが予想されるので、より一層連携したい。
今、委員の話を聞いてなるほどと思ったのが、楽しむスポーツを曜日で分けて考えている子がいる。これは校内にもこの現象が見られていて、あるスポーツで全国レベルの大会に参加した生徒が、９月から始まる平日の部活動には、他のスポーツを選んでいる例もある。いろんな選択肢があることをプラスに捉えている。私たちが持っている古い部活動感みたいなものを、ブラッシュアップという

か、変えていく必要があると強く感じているのでその説明もしたい。また、子どもらのニーズに応えていきたいと強く思う。

〇委員
　２０ページの下から２行目に「活動内容を調整する」とある。人数が調整され、参加できない生徒も出る表現になっているのか。先程の事務局の説明では、場合によっては入れない子も出てくるような発言だったと思うが、確認したい。

〇委員長
　今のところは、募集人数はその種目の指導者数によってある程度調整するのではなかったのか。

〇事務局
　そうである。

〇委員
　それならばこの表現は変えておかないと、なぜ入れなかったのかとなってしまう。

〇委員長
　調整は、活動内容だけではないということである。今やっているなら、それは文言を変えても入れておかなければいけない。

〇事務局
　承知した。

〇委員長
　吹奏楽は、今年度は地域展開としてはやらないが、活動は２ヵ所でやる。吹奏楽も大会に出ていくのは、学校名ではなく地域クラブとしてになるのか。

〇事務局
　一応９月以降は部活動の合同練習会という形で動いている状況で、活動場所もそれぞれの学校ではなくて、当初予定していた布袋中学校と宮田中学校で活動を始めているので、もしコンクールに出る場合は、そういう枠組みの中で出ていくことになる。

〇委員長
　吹奏楽もコンクールに出る場合は参加料が必要になるのか。今は地域展開でないので、学校で予算を取っているのか。

○事務局
　今のところ、教育課で予算が措置されているので、そちらで執行していく形になる。

○委員長
　まだ、学校部活動として予算を執行していく。出場する形態は、合同クラブみたいな形か。

○事務局
　一応地域クラブの活動で使おうとしていた「江南市ジュニアバンド」という名前はそのままにして活動をしていくと聞いている。恐らく、コンクールに出る場合はその名前で出るのではないか。

○委員長
　出場は一つのチームとしてか。

○事務局
　宮田中と布袋中があるので、恐らく別々で参加していくことになる。

○委員
　県大会をたまたま見に行って、岡崎市や春日井市の場合は、岡崎セントラルジュニアなんとか、春日井ウェストなんとかであった。出てくる服装も各学校のユニフォーム。何校か一緒になって、名前も作って、実際に県大会に出ていた。結構進んでいると思った。

○事務局
　９月から練習も始まっているが、特段問題はないと聞いている。

○委員長
　吹奏楽をきっかけに、また文化の方も、興味、関心のある子どもらの居場所づくりとして、何らかの地域展開ができるといいと思う。

○委員
　９月５日をスタートとして、宮田中学校を会場に、布袋中学校以外の４校の子どもらが集まって活動がスタートした。９月１２日の土曜日の午前８時半からスタートする様子を見に行ったところ、６０人ぐらいが来ていた。皆それぞれの学校の制服や体操着を着ていた。顧問の先生たちが、受付で名札を渡したりとか、ホワイトボードにやりたいことが書いてあったりとか、活動が上手くいくように流れを作っていた。これまでの部活動のノウハウを活かしながら、複数の学校の子どもらが集まって活動していた。欠席者を合わせると７０人ぐらいの規模

であった。布袋中学校は多分それよりも少ないとは思う。

〇委員長
　布袋中学校は合同でなく、１校だけか。

〇事務局
　布袋中学校は、先行してそういった活動を視野に入れて進めていた関係で、今年度はやり始めている部分もあったので、布袋中学校だけでやりたいという話を聞いている。布袋中学校は布袋中学校だけ、それ以外の４校は宮田中学校での活動となっている。来年度からは、編成も変わってくるので、他の学校の子どもも布袋中学校を希望すれば布袋中学校で活動してもいいし、布袋中学校の子が宮田中学校を希望すれば、そういうこともできると指導者から聞いている。

〇委員
　「楽しみん祭」について、ボランティアの経験をしながら、軽スポーツも体験して楽しんでもらおうと思っているので、いろんなところで情報拡散をお願いしたい。また、市のホームページも出ているが、「あいち県民の日　学校ホリデー」である１１月２４日には、午後１時からにＫＴＸのサブアリーナで、スポーツ推進委員による軽スポーツ体験を実施する。「楽しみん祭」とは違う軽スポーツも体験できるので、時間のある方々に参加してもらえればありがたい。

〇委員
　前にも話したが、伝統文化にはどんなものがあるか、子どもらは分からなかった。それさえ分からなかったら、何をしたいのかも分からない。文化協会には文化祭が毎年あるが、中学生ボランティアに当日受付をしてもらったり、伝統文化に触れる機会を設けたい。中学生が来る、来ないは別としても、少しでも発信をするだけでも、子どもたちの中に伝統文化に対する興味が湧くかもしれない。ただ、なかなか前に進んでいない。きちんとまとめて話をしたいのでよろしくお願いしたい。

〇事務局
　入学説明会までには少し時間があるので、資料３について何かお気づきの点があったら、事務局まで知らせてほしい。
　先程の実行部会で委員から、吹奏楽の募集についてになるが、新年度の募集前の２月に、今実際に加入している生徒を対象に新年度の継続希望をアンケートで取ってから、３月に募集をしたらどうかという意見があった。いきなり３月に、令和９年度の募集を案内した場合、例えば、布袋中学校に希望が集中して、布袋中学校の応募者が一気に増えてしまうと、８年度まで布袋中学校で活動してきた子どもが、布袋中学校は定員で入れないと言われた場合、急遽４月から宮田中学校に行かなければならなくなるという問題提起がされた。これは、吹奏楽だけ

ではなく、スポーツの場合にも起こり得る。例えば、A チームでやっていたが、定員の関係で B チームになってしまうとか。優先ということではなく、事前にアンケート的な形で継続希望の把握をして、もし継続希望なら募集スケジュールなどを案内する。何月何日から受付が始まることは、皆さんに平等に知らせ、受付も一斉とするが、事前に継続希望を把握できてれば事務局側も少し手を差し伸べられると思う。そういうことも踏まえて、事務局で検討をしていきたい。

５　その他

（１）第６回推進委員会予定

未定

６　閉会

〇委員長

これをもって、第５回江南市部活動の地域展開に関する推進委員会を終了する。

令和８年度　第５回江南市部活動の地域展開に関する推進委員会次第

日　時：令和８年９月１５日（火）
午後３時～
場　所：KTXアリーナ　会議室３

１．開会

２．委員長あいさつ

３．教育長あいさつ

４．議題
（１）地域クラブ活動実施に係る継続課題の検討について（資料１）

（２）地域クラブ活動からの大会参加について（資料２）

（３）中学校入学説明会の資料について（資料３）

５．その他

６．閉会

資料１

地域クラブ活動実施に係る課題の検討

課題項目	課題の検討 （太字部分は令和8年度中）
１．持続可能な安定的な活動の実施について	・休日の地域クラブ活動において、参加者の希望に応じた柔軟な運営を実施 ・地域クラブ活動の認定制度の策定 …「生徒の居場所づくり」の拡充のため、江南市以外の運営団体及び実施主体（クラブ）の認定と該当団体・クラブへの補助金の検討 ・保護者を始め地域住民への周知と理解促進のため、入学説明会・保護者会等の機会を利用した行政・学校からの広報、学校ホームページ・保護者連絡用ツール及び市ホームページ・広報紙を活用して記事の掲載を実施 ＊安定的な活動の継続において、喫緊の課題は指導員の充足である。学校部活動顧問、市内スポーツ団体・文化団体と連携して指導員確保を行う。 また、指導員謝金の近隣と合わせた金額となる増額改訂を検討する。 ＊部活動の「改革実行期間」である令和８年度から令和１３年度までに、全ての休日の部活動の地域展開の実現を目指すこととされたことに基づき、「改革実行期間（前期）」の令和１０年度末までに、新種目を含めた休日の地域クラブ化の充実を図る。さらに、「改革実行期間（後期）」の終期である令和１３年度末には、平日の部活動を含む、学校部活動の地域展開を目標とする。
２．活動場所の複数化等の実現について	・同一種目において活動場所での活動内容、指導方法に格差のないよう、指導員間でのコミュニケーションを強化する。 ・学校部活動と地域クラブ活動での指導内容の確認のため、部活動顧問と指導員との交流の機会を持つ。 ＊全ての参加希望者の受入れを可能とするため、指導方法の工夫、無理のない指導員ローテーションの作成を行う。 地域クラブ活動実施種目で参加人数が多い種目は、学校部活動と同様に各学校での活動を可能とする体制づくりを検討する。（学校運動場等の形状により実施できない種目は除く。）
３．文化部を含めた新規実施種目と指導員の確保について	・実施可能種目の選定と指導員の確保を進める。 ・市内スポーツ・文化団体との検討と実行部会、推進委員会での協議を行う。 ＊地域クラブ活動として設置できない種目は、現在スポーツ・文化関係で活動している団体の活動に生徒が参加できる機会を増やす。
４．地域クラブ活動としての大会参加について	・事務取扱（案）に定める内容（中小体連主催の大会等）の出場機会の確保を図る。 ・大会への参加機会の確保…各大会の出場申込、引率、運営などを円滑に進めるため、学校部活動顧問教諭との連携と協力体制の整備 ＊これまで学校部活動として出場してきた中小体連主催等の大会への参加機会の確保のため、学校部活動顧問教諭からの情報提供（伝達）、併せて指導員登録を依頼する。
５．実施種目毎の受益者負担額の見直しについて	・受益者負担について保護者に理解を求めていくとともに、令和9年度予算以降において、各種目の運営に係る必要経費を算出し、参加料の保護者負担額を検討する。 ・近隣市町の考え方も参考として、保険料を含め事業に係る公費負担の範囲を検討する。 ＊種目毎の参加料とスポーツ安全保険料の保護者負担の理解を得る。 事業の歳入と安定した参加者数の確保を鑑み、新たに登録料（年会費）等の徴収等を検討する。 *今後、認定制度の進行により、認定クラブでの参加料免除の方法を検討する。

各種協会、連盟主催の大会への参加調べ

資料２-1

	種目	大会名	主催団体名	開催時期	申込み締切	参加資格	参加費用	過去の参加状況（備考）
1	軟式野球	全日本少年春季軟式野球大会	公益財団法人全日本軟式野球連盟	全国大会は春 １１月に県大会 ９月に尾北予選(新人戦)	８月中旬くらいに江南市の軟式野球連盟に参加料を支払う	中学生	尾北予選で5000円。県大会や上位大会に出るとさらにかかると思います。	管内地区どの学校も参加していました。
2	軟式野球	全日本少年軟式野球大会	公益財団法人全日本軟式野球連盟	全国大会は８月 県大会はＧＷ 尾北予選は3月下旬～４月上旬	上記と一緒	中学生	上記と一緒	管内地区どの学校も参加していました。
3	軟式野球	中日少年野球大会	愛知県軟式野球連盟	県大会は８月上旬 尾北予選は４月下旬	上記と一緒	中学生	上記と一緒	管内地区どの学校も参加していました。
4	サッカー	AIFA　U-15　サッカー選手権大会 西尾張	愛知県サッカー協会３種委員会	６月頃 尾北の予選は５月頃	毎年夏ごろに協会登録費を納入	中学生 協会登録選手	個人登録費 ２０００円	ほとんどの中学校が登録していた
5	サッカー	AIFA　U-14　サッカー選手権大会 西尾張	愛知県サッカー協会３種委員会	１０月～１１月頃 ※この大会は西尾張から開催開始	毎年夏ごろに協会登録費を納入	中学生 協会登録選手	個人登録費 ２０００円	ほとんどの中学校が登録していた
6	サッカー	AIFA　U-13　サッカー選手権大会 西尾張	愛知県サッカー協会３種委員会	１月頃 尾北の予選は１２月頃	毎年夏ごろに協会登録費を納入	中学生 協会登録選手	個人登録費 ２０００円	ほとんどの中学校が登録していた
7	バスケットボール	オール西尾張大会	愛知県バスケットボール協会	１２月１～３週目	？？？	協会に登録しているチーム、個人	5500円	管内地区全中学校が参加していました。
8	バレーボール	愛知県中学生バレーボール新人大会	愛知県バレーボール協会	9月～11月	管内大会は自動登録 西尾張大会は10月中旬 県大会は10月末	JVA（日本バレーボール協会）に個人登録されている選手であること 西尾張大会、県大会ともに支部予選で上位入賞するなど地区の代表として認められるチーム	西尾張大会（￥8,000、Ｒ６） 県大会（￥10,000、Ｒ６）	西尾張大会は管内から３～４チーム（前年度実績によって変化） 県大会には５チーム程度

各種協会、連盟主催の大会への参加調べ

資料２-1

	種目	大会名	主催団体名	開催時期	申込み締切	参加資格	参加費用	過去の参加状況（備考）
9	バレーボール	名古屋・尾張地区中学生選抜優勝大会	愛知県バレーボール協会 名古屋・尾張支部	2～4月	1～2月	JVA（日本バレーボール協会）に個人登録されている選手であること 先んじて行われる名古屋・尾張地区中学生バレーボール強化練習会での成績優秀チーム 名古屋・尾張地区中学生バレーボール強化練習会には各地区から推薦されたチームが参加（Ｒ６は上記の新人大会予選の西尾張地区上位４チームが参加）	予選は１チーム￥1,000 本戦は出場経験がないため不明	
10	ソフトテニス	西尾張ソフトテニス新人大会	西尾張ソフトテニス連盟	１０月中旬	尾北支所からの推薦	ソフトテニス連盟へ登録をしているチーム	5,000	合同練習会の結果を流用（毎年参加）
11	ソフトテニス	愛知県ソフトテニス選手権大会	愛知県ソフトテニス連盟	６月中旬	尾北支所からの推薦	ソフトテニス連盟への個人登録	1,000×１ペア	地区から４ペア毎年参加
12	ソフトテニス	愛知県ソフトテニス選手権大会尾北予選会	尾北支所ソフトテニス連盟	３月下旬	３月上旬	ソフトテニス連盟への個人登録	200×１ペア	毎年参加
13	ソフトボール	西尾張中学校女子選手権	愛知県協会尾張支部	4月末	３月末	勝ち進んで県大会に出場する場合スタートコーチ	大会参加費５０００円 尾張支部登録料２０００円 運営費２０００円 日本ソフトボール協会登録料５０００円 愛知県ソフトボール協会登録料５５００円 個人登録料３００円	古知野 江南北部 布袋 参加実績あり
14	ソフトボール	西尾張中学校女子新人大会	愛知県協会尾張支部	１０月中	８月末	勝ち進んで県大会に出場する場合スタートコーチ	大会参加費５０００円 尾張支部登録料２０００円 運営費２０００円	古知野 江南北部 布袋 参加実績あり
15	剣道	尾張中学校剣道大会	尾張剣道連盟	５月下旬	約半月前	連盟登録が必要	１チーム1,000円	中学校に案内がくるのでテスト週間にかぶっていなければ参加している
16	剣道	尾張中学校新人剣道大会	尾張剣道連盟	11月下旬～12月中旬	約半月前	連盟登録が必要	１チーム1,000円	中学校に案内がくるのでテスト週間にかぶっていなければ参加している
17	剣道	江南市剣道大会	江南市剣道連盟	スポーツの日	約半月前	なし	なし	中学校に案内がくるのでテスト週間にかぶっていなければ参加している
18	剣道	江南市春季剣道大会	江南市剣道連盟	3月下旬	約半月前	なし	１人３００円	中学校に案内がくるのでテスト週間にかぶっていなければ参加している
19	陸上競技	第１回尾張記録会	尾張陸上競技協会	４月第１週の土、第２週の土日（３日間日程）	前年度３月下旬	尾張登録統括区域の愛知陸協登録者	１種目600円、リレー１チーム1,500円	シーズン初めの大会としてほぼ全員が参加している

各種協会、連盟主催の大会への参加調べ

資料２-1

	種目	大会名	主催団体名	開催時期	申込み締切	参加資格	参加費用	過去の参加状況（備考）
20	陸上競技	第１回尾張スプリント競技会	尾張陸上競技協会	５月第２土曜日（１日日程）	４月下旬	尾張登録統括区域の愛知陸協登録者	１種目600円	100m、300mという短い距離の記録会。短距離選手が参加。
21	陸上競技	第72回全日本中学生通信陸上競技大会西尾張予選会	尾張陸上競技協会	５月最終の土日（２日間日程）	5月中旬	尾張登録統括区域の愛知陸協登録者	１種目600円、リレー１チーム1,500円	県大会につながる大会。ほぼ全員が参加する。
22	陸上競技	第２回尾張記録会	尾張陸上競技協会	6月最終の土日（2日間日程）	6月上旬	尾張登録統括区域の愛知陸協登録者	１種目600円、リレー１チーム1,500円	中小体の試合に出場しない選手が出場できる試合。一定数出場する場合が多い。
23	陸上競技	第2回尾張スプリント競技会	尾張陸上競技協会	7月第２土曜日（１日日程）	６月下旬	尾張登録統括区域の愛知陸協登録者	１種目600円	100m、300mという短い距離の記録会。短距離選手が参加。
24	陸上競技	第3回尾張記録会	尾張陸上競技協会	9月第３の土日（2日間日程）	８月上旬	尾張登録統括区域の愛知陸協登録者	１種目600円、リレー１チーム1,500円	中小体の試合に出場しない選手が出場できる試合。一定数出場する場合が多い。
25	陸上競技	第３回尾張スプリント競技会	尾張陸上競技協会	１１月第１土曜日（１日日程）	１０月中旬	尾張登録統括区域の愛知陸協登録者	１種目600円	100m、300mという短い距離の記録会。短距離選手が参加。
26	陸上競技	第４回尾張スプリント競技会	尾張陸上競技協会	３月第４日曜日（１日日程）	３月上旬	尾張登録統括区域の愛知陸協登録者	１種目600円	100m、300mという短い距離の記録会。短距離選手が参加。
27	陸上競技	尾張長距離競技会	尾張陸上競技協会	３月第４日曜日（１日日程）	３月上旬	尾張登録統括区域の愛知陸協登録者	１種目600円	800m、3000mの記録会。長距離選手が参加。
28	卓球	夏季江南卓球大会	江南市卓球協会	５月	１～３週間前	江南市在住 江南市在勤 江南市卓球協会員 江南市卓球協会から参加申込み用紙を送付した中学校・高校である の、いずれかに該当すること。	無料	古知野中・宮田中ともに参加
29	卓球	一万人卓球大会	江南市卓球協会	９月	１～３週間前	江南市在住 江南市在勤 江南市卓球協会員 江南市卓球協会から参加申込み用紙を送付した中学校・高校である の、いずれかに該当すること。	無料	古知野中・宮田中ともに参加
30	卓球	江南市民スポーツ祭	江南市卓球協会	１２月	１～３週間前	江南市在住 江南市在勤 江南市卓球協会員 江南市卓球協会から参加申込み用紙を送付した中学校・高校である の、いずれかに該当すること。	無料	古知野中・宮田中ともに参加
31	卓球	濃尾平野オープン	一宮市卓球協会	１２月	およそ１か月前	中学２年生以下	１チーム4000円	古知野中から、昨年度のみ参加

各種協会、連盟主催の大会への参加調べ

資料２-1

	種目	大会名	主催団体名	開催時期	申込み締切	参加資格	参加費用	過去の参加状況（備考）
32	卓球	江南春季卓球大会	江南市卓球協会	３月	１～３週間前	江南市在住 江南市在勤 江南市卓球協会員 江南市卓球協会から参加申込み用紙を送付した中学校・高校である の、いずれかに該当すること。	無料	古知野中・宮田中ともに参加
33	バドミントン	県中学生大会	愛知県 バドミントン協会	４月	４／９	愛知県バドミントン協会登録が必須 男女（単）４名 男女（複）４組　まで	１人１種目 １２００円	男女各４０名程度
34	バドミントン	県中学生チャレンジ大会	愛知県 バドミントン協会	５月	４／２３～４／３０	愛知県バドミントン協会登録が必須 公式戦登録３年未満まで	１２００円	１００名以上
35	バドミントン	県中学生チャレンジ大会	愛知県 バドミントン協会	９月	８月終わり頃（予）	愛知県バドミントン協会登録が必須 公式戦登録３年未満まで	１２００円	１００名以上
36	バドミントン	県中学生チャレンジ大会	愛知県 バドミントン協会	１２月	１１月終わり頃（予）	愛知県バドミントン協会登録が必須 公式戦登録３年未満まで	１２００円	１００名以上
37	バドミントン	県中学生新人大会	愛知県 バドミントン協会	１１月	１０月終わり頃（予）	愛知県バドミントン協会登録が必須 １・２年生 男女（単）４名 男女（複）４組	１人１種目 １２００円	男女各４０名程度
38	バドミントン	県中学生バドミントン大会（団体）	愛知県 バドミントン協会	１月	１２月中旬頃（予）	愛知県バドミントン協会登録が必須 １・２年生 男女各８名まで	１チーム ６０００円	男女各４０名程度
39	吹奏楽	愛知県吹奏楽コンクール	愛知県吹奏楽連盟	7月下旬	６月上旬	A編成：５０名以内 B編成：３０名以内		
40	吹奏楽	中部日本吹奏楽コンクール	愛知県吹奏楽連盟・中日新聞社	７月中旬	６月上旬	大編成：５０名以内 小編成：３０名以内		
41	吹奏楽	愛知県アンサンブルコンテスト	愛知県吹奏楽連盟	12月下旬	11月中旬	１校３チームまで		
42	吹奏楽	中部日本個人・重奏コンテスト	愛知県吹奏楽連盟・中日新聞社	１月下旬				
43	吹奏楽	合同演奏会	丹葉地方中学校吹奏楽協議会	7月末	６月下旬	なし		
44	吹奏楽	アンサンブル発表会	丹葉地方中学校吹奏楽協議会	１月下旬	１２月	1校3チームまで		

令和８年度　秋の新人戦等への出場予定

資料2-2

	種目	主催	大会	開催日	出場者数	団体登録料	個人参加費	団体参加費	その他
1	軟式野球	愛知県 軟式野球連盟	全日本少年春季軟式野球大会（尾北予選）	９月19日 ９月20日	1チーム　20人			6,000円 /１チーム	参加者20人×300円
10	ソフトテニス	愛知県 ソフトテニス連盟	尾北地区ソフトテニス新人戦 （優諸チームは都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会に出場）	9月26日	（1チーム　６人＋補欠2人） ×　4チーム	4,000円/１チーム ただし、今年度は中学校の登録あるため不要		2,000円 /1チーム	ゼッケン製作 800円程度/枚
24	陸上競技	尾張陸上競技協会 愛知県陸上競技協会	西尾張中学校新人陸上競技会/尾張記録会	９月19日 ９月20日	約30人（予定）	6,000円/１チーム ただし、今年度は各中学校で登録したゼッケンを使い不要。 このため各中学校名でのエントリーになる。	１種目 600円		
	陸上競技	江南市陸上競技協会	江南市民陸上競技大会	9月13日	約40人（予定）	小中学生は無料			

江南市地域クラブ活動参加生徒の対外試合等派遣に係る事務取扱（案）

（目的）

第１条　この事務取扱は、江南市が運営する地域クラブ活動に所属する生徒（以下「生徒」という。）が、対外試合等に出場する際の参加料等（主催者に支払う登録料等の諸費を含む。）の負担及び旅費の支給に関し、必要な事項を定めるものとする。

（定義）

第２条　この事務取扱における対外試合等とは、次の各号に掲げるものをいう。

（１）公益財団法人日本中学校体育連盟、東海中学校体育連盟、愛知県中小学校体育連盟、西尾張中小学校体育連盟又は愛知県中小学校体育連盟尾北支所が主催する大会

（２）一般社団法人全日本吹奏楽連盟、中部日本吹奏楽連盟、東海吹奏楽連盟、愛知県吹奏楽連盟又は愛知県小中学校吹奏楽連盟西尾張支部が主催するコンクール若しくはコンテスト

（３）県大会以上（予選又は選考があり、大会要項等が定められているものに限る。）の大会で、教育関係機関が主催、共催又は後援しているもの

（４）前３号に掲げるもののほか市長が必要と認めた大会

（参加料等及び旅費）

第３条　前条各号の対外試合等の参加に係る参加料等及び旅費に相当する額は、江南市の一般会計予算から支出する。

２　前条各号の対外試合等に派遣する者は、生徒及び引率等を行う指導員とする。（主催者の定める大会要項等に定めのあるときはその人数を上限とし、定めのないときは市長が必要と認める人数とする。）

３　旅費に相当する額については、江南市職員等の旅費に関する条例（令和７年条例第２８号）を準用して計算する。

４　参加料等については、県大会以上の大会を対象とし、主催者が大会要項等に定めた額とする。

（その他）

第４条　この事務取扱は、各地域クラブが第２条各号の対外試合等以外の大会に参加することを妨げるものではない。

第５条　この事務取扱に定めるもののほか、必要な事項は、市長が別に定める。

附　則

この事務取扱は、令和８年〇月〇日から施行する。

資料３

「部活動の地域展開について」中学校入学説明会での周知について

１　周知内容

休日の部活動の地域展開に係る地域クラブ活動の内容と実施について、中学校入学予定の児童とその保護者に向けて周知を行う。

２　周知方法

各中学校入学説明会にてレジュメにて説明を行い、その後、質疑を受け付ける。（所要時間　約15分間以内）

*説明会前に、事務局から各中学校へ説明用レジュメ(参加者数分)を持参する。

３　開 催 日

古知野中学校	令和８年１１月１２日（木）
布袋中学校	令和９年　１月１８日（月）
宮田中学校	令和９年　１月２０日（水）
北部中学校	令和９年　１月２１日（木）
西部中学校	令和９年　１月２１日（木）

＊説明会当日のプログラムは、各中学校で調整

（案）

令和８年　月　　日

市立中学校長　様

江南市教育委員会
教育長　高田　和明

部活動の地域展開についての周知について（依頼）

このことにつきまして、今年度の各中学校の入学説明会において、保護者及び入学予定児童に向けて、江南市の部活動の地域展開についての周知を行いたく存じます。

下記の予定で、配布資料による説明及び質疑応答の時間をいただきたく存じますのでご高配いただきますよう、よろしくお願いいたします。

記

１　周知日　　今年度の各中学校入学説明会

２　説明員　　スポーツ推進課職員　２名

３　依頼事項　①入学説明会プログラム内で、地域クラブ活動についての説明に要する約１５分を組み入れていただきたく存じます。

②学校からは、令和９年度の学校部活動についての考え（新１年生の部活動募集予定、平日の学校部活動実施内容の予定等）の説明をいただけますようお願いいたします。

③入学説明会の全体資料中に、当課説明用資料の添付をお願いいたします。

＊説明用資料は参加予定数をお聞きし、事前に各学校にお届けします。

４　その他　　各学校での説明時間に係るプログラムをご教示願います。

問合せ先　教育部スポーツ推進課
電話　0587-55-5261
FAX　0587-54-2679
E-mail taiiku@city.konan.lg.jp

令和８年度　中学校入学説明会

地域クラブ活動について

休日の部活動が変わります　―「やってみたい」を選べる、新しい活動の場へ―

01　江南市の地域クラブ活動の展開

江南市では、子どもたちが将来にわたってスポーツや文化芸術活動を続けられる環境を整えるため、休日の学校部活動を地域クラブ活動への展開をしています。
地域クラブ活動は、これまで実際に活動を行いながら、運営方法や課題を確認し、段階的に進めてきました。

令和５～８年度８月	令和８年度９月	令和９年度	今後の予定
休日の地域クラブ活動の試行実践	休日の学校部活動を終了 休日の地域クラブ活動を本格実施	休日の地域クラブ活動を継続して実施	平日の学校部活動の地域クラブ活動への展開を計画

令和９年度は、休日の部活動を地域クラブ活動として実施します。

02　なぜ地域クラブ活動とするのか

少子化が進む中、これまでと同じように学校単位で部活動を続けていくことが難しくなっています。
また、専門性のある指導者の確保や、教員の働き方改革への対応も課題となっています。

一方で、子どもたちには、これからもスポーツや文化芸術活動に親しみ、自分の「やってみたい」活動を続けられる環境と「子どもの居場所づくり」が必要です。
地域クラブ活動は、学校の枠を越えて地域で活動することで、子どもたちの活動の場を将来にわたって地域全体で確保していくための取組です。

地域クラブ活動の概要

03 地域クラブ活動とは

地域クラブ活動は、学校の部活動とは別に、地域を基盤とする活動です。
市内５中学校の生徒が、学校に関係なく参加することができます。

- 地域でスポーツ・文化芸術活動に携わっている方、兼職兼業の学校教諭等が指導します。
- 活動場所は、原則拠点となる中学校施設を利用します。
- 現在学校で所属している部活動とは違う種目を自由に選ぶことができます。
- 大会へは、原則地域クラブ活動として出場します。

「学校ごと」から「地域で一緒に」活動する形へ

04 令和９年度の活動について

令和９年度は、休日の地域クラブ活動を実施します。
対象は市内の中学生で、活動は原則月４回、土曜日・日曜日です。
活動時間は、１回あたり３時間程度を基本としています。

- 学校行事や天候などにより、活動内容の変更や中止となる場合があります。
- 令和９年度の詳しい活動内容については、確定後に改めてお知らせします。

05 活動を予定する種目・場所について

種目によって、活動場所、活動する曜日、時間が異なります。

活動場所へは、各自で徒歩や自転車、または保護者の送迎等で移動し集合していただきます。

スポーツ	文化芸術活動
バスケットボール／ソフトテニス／ソフトボール バドミントン／バレーボール／軟式野球 剣道／卓球／陸上競技／サッカー	吹奏楽

希望者数、指導員、施設の状況などにより、活動内容を調整する場合があります。
令和９年度の種目、会場、日程などの詳細については、確定後に改めてご案内します。

06 安全・安心のために

地域クラブ活動では、生徒が安心して活動できるよう、安全面や指導体制を整えています。

- 指導員の登録・研修を行います。
- 活動中の安全管理や、緊急時の対応を整えます。
- 学校と地域クラブ活動の指導者が、大会出場情報等を共有します。
- 活動状況を確認し、適切な運営につなげます。
- ハラスメント等を防止し、生徒が安心して参加できる環境づくりを進めます。

参加にあたって

07 申込みから参加まで

募集案内で活動内容や日程、場所などを確認していただき、希望する種目を選んでお申し込みいただきます。

1 情報を確認	2 種目を選択	3 申込み	4 活動に参加
種目・場所・日程を確認	興味のある活動を選ぶ	案内に沿って申し込む	持ち物・注意事項を確認

詳しい申込み方法や募集の開始時期(令和9年3月初旬を予定)については、学校からの配信や市ホームページなどでお知らせします。

08 参加費について

令和８年度は、地域クラブ活動の参加費を１回 500 円としています。
支払いについては、２か月ごとに納付書で納付していただいています。

- 複数の種目に参加する場合は、参加する種目数に応じて参加費が必要です。
- 大会へ出場する場合は、個人登録費等が必要となります。
- 就学援助制度を受けている場合は、申請による免除制度があります。

令和９年度の参加費については、決定後に正式にお知らせします。

09 保護者の皆さまへ

地域クラブ活動は、これまでの学校部活動とは違う、新しい活動の形です。
学校の部活動ではなく、地域クラブ活動という選択肢の中から、お子さま自身が「やってみたい」と思う活動を選ぶことができます。

「どの種目にしてみようか」「何をやってみたい？」
ご家庭でも、お子さまと一緒に考えてみてください。

今後のお知らせについて

令和９年度の活動内容、種目、活動場所、日程、参加費などの詳細については、決定後にご案内します。
募集案内は、学校からの配信や市ホームページなどでお知らせする予定です。

地域クラブ活動へのご理解とご協力をお願いします

子どもたちが安全・安心に活動できるよう、活動種目の指導員やお手伝いいただくボランティアの募集をしています。ご家族やお知り合いに広くお声をかけていただき、地域全体で子どもの成長を見守っていきたいと思います。

今後も、よりよい活動の場となるよう、必要に応じて内容の見直しや改善を行いながら進めていきます。
保護者の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

お問い合わせ	江南市スポーツ推進課 ☎ 0587-55-5261 E-mail: taiiku@city.konan.lg.jp

令和８年度　〇〇中学校入学説明会

「部活動の地域展開について」

本日、ご説明させていただきました部活動の地域展開について、皆様のご意見・ご質問をお聞かせください。回答は自由です。

＊下の二次元コードから、ご回答願います。



＊回答締切日　令和〇年〇月〇日（〇）

よろしくお願いいたします。

問合せ先　教育部スポーツ推進課
電話　0587-55-5261
FAX　0587-54-2679
E-mail taiiku@city.konan.lg.jp